

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成24年8月2日(2012.8.2)

【公開番号】特開2009-13289(P2009-13289A)

【公開日】平成21年1月22日(2009.1.22)

【年通号数】公開・登録公報2009-003

【出願番号】特願2007-176751(P2007-176751)

【国際特許分類】

C 0 8 G 18/42 (2006.01)

C 0 8 G 18/16 (2006.01)

C 0 8 G 101/00 (2006.01)

【F I】

C 0 8 G 18/42 F

C 0 8 G 18/16

C 0 8 G 101:00

【手続補正書】

【提出日】平成24年6月18日(2012.6.18)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

(a)ポリイソシアネート、(b)ポリオール、(c)発泡剤、(d)触媒、(e)界面活性剤及び(f)その他助剤からなるポリウレタンフォーム用組成物において、カルボン酸成分及びアルコール成分をエステル化反応させて得られるポリエステルポリオールであって、カルボン酸成分が、炭素数4～6の脂肪族多価カルボン酸であり、アルコール成分が、2級水酸基を少なくとも1つ有する官能基数3以上の多価アルコールを含む多価アルコールであることを特徴とするポリエステルポリオール(b-1)を(b)ポリオール成分の一部として用い、さらにカリウム系のイソシアヌレート化触媒を(d)触媒成分の一部として用いることを特徴とするポリウレタンフォーム用組成物。

【請求項2】

カルボン酸成分として、さらに炭素数8～12の芳香族多価カルボン酸を用いることを特徴とする請求項1に記載のポリウレタンフォーム用組成物。

【請求項3】

炭素数4～6の脂肪族多価カルボン酸が、コハク酸又はアジピン酸であることを特徴とする請求項1又は2に記載のポリウレタンフォーム用組成物。

【請求項4】

炭素数4～6の脂肪族多価カルボン酸が、コハク酸又はアジピン酸であり、炭素数8～12の芳香族多価カルボン酸がフタル酸又はテレフタル酸であることを特徴とする請求項2に記載のポリウレタンフォーム用組成物。

【請求項5】

2級水酸基を少なくとも1つ有する官能基数3以上の多価アルコールが、グリセリンであることを特徴とする請求項1乃至4のいずれか1項に記載のポリウレタンフォーム用組成物。

【請求項6】

ポリエステルポリオール(b-1)を(b)ポリオール成分の1～40重量%用いるこ

とを特徴とする請求項 1 乃至 5 のいずれか 1 項に記載のポリウレタンフォーム用組成物。

【請求項 7】

イソシアネートインデックスが 130 以上であることを特徴とする請求項 1 乃至 5 のいずれか 1 項に記載のポリウレタンフォーム用組成物。

【請求項 8】

カリウム系のイソシアヌレート化触媒として、オクチル酸カリウム及びノ又は酢酸カリウムを用いることを特徴とする請求項 1 乃至 5 のいずれか 1 項に記載のポリウレタンフォーム用組成物。

【請求項 9】

請求項 1 乃至 8 のいずれか 1 項に記載のポリウレタンフォーム用組成物を発泡硬化させてなることを特徴とするポリウレタンフォーム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0018

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0018】

即ち、本発明は、以下を特徴とする要旨を有するものである。

(1) (a) ポリイソシアネート、(b) ポリオール、(c) 発泡剤、(d) 触媒、(e) 界面活性剤及び(f) その他助剤からなるポリウレタンフォーム用組成物において、カルボン酸成分及びアルコール成分をエステル化反応させて得られるポリエステルポリオールであって、カルボン酸成分が、炭素数 4 ~ 6 の脂肪族多価カルボン酸であり、アルコール成分が、2 級水酸基を少なくとも 1 つ有する官能基数 3 以上の多価アルコールを含む多価アルコールであることを特徴とするポリエステルポリオール (b - 1) を (b) ポリオール成分の一部として用い、さらにカリウム系のイソシアヌレート化触媒を (d) 触媒成分の一部として用いることを特徴とするポリウレタンフォーム用組成物。

(2) カルボン酸成分として、さらに炭素数 8 ~ 12 の芳香族多価カルボン酸を用いることを特徴とする上記 (1) に記載のポリウレタンフォーム用組成物。

(3) 炭素数 4 ~ 6 の脂肪族多価カルボン酸が、コハク酸又はアジピン酸であることを特徴とする上記 (1) 又は (2) に記載のポリウレタンフォーム用組成物。

(4) 炭素数 4 ~ 6 の脂肪族多価カルボン酸が、コハク酸又はアジピン酸であり、炭素数 8 ~ 12 の芳香族多価カルボン酸がフタル酸又はテレフタル酸であることを特徴とする上記 (2) に記載のポリウレタンフォーム用組成物。

(5) 2 級水酸基を少なくとも 1 つ有する官能基数 3 以上の多価アルコールが、グリセリンであることを特徴とする上記 (1) 乃至 (4) のいずれかに記載のポリウレタンフォーム用組成物。

(6) ポリエステルポリオール (b - 1) を (b) ポリオール成分の 1 ~ 40 重量% 用いることを特徴とする上記 (1) 乃至 (5) のいずれかに記載のポリウレタンフォーム用組成物。

(7) イソシアネートインデックスが 130 以上であることを特徴とする上記 (1) 乃至 (5) のいずれかに記載のポリウレタンフォーム用組成物。

(8) カリウム系のイソシアヌレート化触媒として、オクチル酸カリウム及びノ又は酢酸カリウムを用いることを特徴とする上記 (1) 乃至 (5) のいずれかに記載のポリウレタンフォーム用組成物。

(9) 上記 (1) 乃至 (8) のいずれかに記載のポリウレタンフォーム用組成物を発泡硬化させてなることを特徴とするポリウレタンフォーム。